



JASDAQ

2021年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
代表者名 代表取締役社長 阿久津貴史
(J A S D A Q ・ コード番号 2694)
問合せ先 取締役管理本部長 山下 淳
(TEL. 052 - 910 - 1729)

営業外収益及び特別損失の計上、ならびに連結業績予想と
実績との差異に関するお知らせ

2021年3月期第4四半期において、下記のとおり営業外収益及び特別損失を計上することとなりました。また、2020年11月13日に公表いたしました、2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

当社は、2021年3月期第4四半期におきまして、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び営業時間短縮協力金を助成金収入として計上することとなりました。

当該事象により、2021年3月期の連結業績に与える影響額は、助成金収入486,372千円となります。

2. 特別損失の計上について

当社は、2021年3月期第4四半期におきまして、当社が保有する固定資産の回収可能性を検討した結果、外食店舗等について減損損失を追加計上することとなりました。

当該事象及び不採算店舗の閉店意思決定等により、2021年3月期の連結業績に与える影響額は、減損損失639,199千円、店舗閉鎖損失105,855千円、店舗閉鎖損失引当金繰入額△58,119千円となります。

3. 通期業績予想と実績との差異について

(1) 当期の連結業績予想数値と実績との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 20,720	百万円 △1,486	百万円 △1,101	百万円 △1,401	円 銭 △6.08
実績値（B）	19,733	△1,868	△1,292	△2,015	△8.74
増減額（B－A）	△986	△382	△191	△614	－
増減率（％）	△4.8	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	27,981	179	283	△1,500	△7.83

(2) 差異の理由

当連結会計年度におきましては、政府・地方自治体による営業自粛要請や少人数での食事要請、インバウンド需要の消失、テレワークの拡大や消費者の不要不急の外出自粛に伴うテイクアウト・デリバリーの増加等による影響が非常に大きく、極めて厳しい状況が続いております中、当社の主力事業である郊外型焼肉業態では昨年5月下旬の緊急事態宣言の解除以降、感染者数の増加による影響は受けたものの比較的順調な回復傾向が見られ、政府主導の「Go To キャンペーン」による効果も含め、昨年10月から11月中旬にかけては前年同月とほぼ同等の水準にまで回復が見られておりました。

しかしながら、昨年11月下旬以降、営業自粛要請や外出自粛要請、感染拡大地域への往来自粛要請が再度出されたことを受け、特に首都圏居酒屋業態を中心に本来最大の繁忙期であるはずの昨年12月の宴会需要が大きく減少したことに加えて、今年1月に発出された2回目の緊急事態宣言により再度大きな影響を受け、本来歓送迎会等で繁忙期にあたる今年3月の収益も大きく悪化するなどしたことが、当連結会計年度における収益を大幅に悪化させる要因となりました。加えて、収益性の低下により運営の継続が困難となった店舗や、多額の固定資産の減損処理が発生したことによって、最終損益も大幅に悪化したこともあり、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回り、売上高19,733百万円、営業損失1,868百万円、経常損失1,292百万円、親会社株主に帰属する当期純損失2,015百万円の実績となりました。

以上